

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(1)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0716.46	クモノスイカ<古>	クモノスイ
0737.94	ami, <ami okake tabi. 〉 <suu は ito を ぐく さん まい た も の 〉	kumo no ami
1738.19	ami < tte ami と う 二 本 が 多 い 〉	kumo no ami
1770.18	クンボノスイ	クモノスイ
2771.64	<新?> kumono siyaki	kumono si
2803.22	クモノスイ (シノイリ)	
3704.57	<sup>(4?)</sup> igari	
3716.58	<古> kumo no iyaki	kumo no si
3722.97	不明 石前 文 左 右	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (2)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3726.25.	クボノス (この地点のクボノの老人は、クモノエカキと言った。)	
3727.81.	クボノエカキ, 綿のように白くかたまっているもの	クモリス
3733.18.	Kūbo no ami 多	Kūbo no sui
3796.95.	クモノエス, 網を集めたものを。アケス"ボン	
	ボンという。	
4638.22.	Kūbonosui, sui の中名化はそれほど甚くは。	
4638.43.	[kūbo no jadži]	kūbo no sui.
4663.92.	kūmo no jazi 〈綿のはものは、こういう〉	
	kūmo no sui 〈もっとア三の目の掛かいた井の又三にある	
	ぼうなのば、こういう〉	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の&lt; &gt; ( ) ( ) は秘密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4666.99	kũbo no si (「何ですか」と重ねて問うたときの答)	kũbo no sui
4676.42	クモス, 「ヤジカケタ」とヤジとも言うことから か、これは誘導質問文のため採用しない。	
4677.65	kũmo no jadzi, < 水を多く用いる。 > 「外に言い方はありませんか」の向に反対する意。	kũmo no su
4684.77	? kũmo no jadzi	
4685.72	kũmo no jadzi (水を多く用いる)	
4694.81	ス, (網状のもの) クモヤジ (天井のすきとび) かかる目の糸田かいくものす。	
4694.95	[右] kũmo no jadzi	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は秘密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(X)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4695.21	kumo no ami 〈共〉, jādzi (これは "jādzi kakeru" などと用いる。) (kumo no ami は共通語的場面で用いるものではなからうか。) (jādzi が旧来の用法であらう。)	
4697.92	(kubo no edzu) (この字は、只見出身の渡辺英雄氏から採集した。)	Kubo no su.
4703.88.	kumo no ēdzu 〈くもの絵図"からきたか。〉	
4713.45	kumo no edzu 〈右〉	kumo no su.
4715.33.	kumo no ēdzu. 〈クモが餌をとる巣"から。クモエズ"という。〉	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	(6)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4784.41	kuumo no sui, kuumo no edzui (両方ともい)	
5471.59	ヤマハノエカキ, 〈糸と葉を同一に呼ぶ。〉	
5585.63	ku <u>bo</u> no s <sup>蓋</sup> <sub>u</sub> , <del>ku-au</del> は u をらす。	
5595.20	ku <u>bo</u> no sui, u ならず。	
5603.88	kuumo no jazi (蜘蛛知虫の小さい時。)(種類 のことか? 幼虫知虫のことか?)	kuumo no sui.
5608.51	ku <u>bo</u> no jezu, (ezui or ezui かと表記に 迷う音だが「絵図」の意。)	
5615.28	? ku <u>mo</u> no sui.	
5615.74	#? ami (?), jadzi, jadzi okakeru と言う。	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		〔B 除いた共通語〕	(8)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5676.84	クモノアミ 〈これが普通〉	クモス
5687.32	?クモノアジ (クモカ"アジ" ハルテルと使うけど、 それがクモノ糸のとは、粟のとは不明) (厳密に 区別はわからない。) (?は被言調査者 がアジか粟か糸か判断に迷ったのはかと思え)	
5687.86	ス, スオツクル <sup>AFIC</sup> <del>ス</del> 言う。 アジ, アジ <del>ス</del> オツクル <sup>AFIC</sup> と言う。	
5701.25	Kumo noedzu 〈古〉	kumo nosu.
5712.70	kumono süi [kubono itsüi, itsüi は糸会図のと.]	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (9)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
573/13	kūbonos(ü), kūmonos(ü), kūbome nos とは言わない。	
574/25	kūbo no edzu, 他の別記調査〔に被字同査者による〕: kūbo no enjari という	
5792/18	kūmonosu 〈99〉	kūmo no ami.
5792/62	kūmonosü. 〈003と区別(な)のか普通〉	
6368/60	kūmonokasa 〈他〉, [kūmonojū]	
6374/64	クモノエバ 〈糸も巣も同じように言う〉	
6395/46	クモノエバ 〈外に大きく張った巣〉, クモノス 〈室内の隅などに張った小さい巣。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
項目名 くもす			(10)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6415.23	kumo no ami, ami, (最初にアミと答えてから正しいを言う。クモアミが出た。)	
6423.75	kumo no igi 〈丸用いる。〉	kumo no sui
6426.04	kumo no sui (普通は、アミフハットルというとの説明をつけ加えていた。しかし、糸や巣をアミとは言わないらしい。)	
6440.25	クモイキ" 〈右〉	
6444.89	クモイキ" 〈天井、床下などの場合は、クモスといふ〉	
6455.62	クモエキ", #クモイス。 (両者に区別なし)	
6456.57	クモアミ, クモイス (両者に区別なし。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6459.52	(ス). クモカスオハットルのように言う。	
6460.10	[kumo no juu?]	
6463.73	クモノエ?, 什のことエエというまうんも, 本人はスのことという。	
6485.82	クモノス, 〈「クモノス」といのは天井の隅などによく小さく白く張ってそれが古びよこれて, ススの様になっているのをさしていう。〉。(被調査者は立て天井のそれを指さして説明した。)	
6487.43	クモノス (クモオカスウカケトルという. しい方をする. クモオカく古>であるとする. 今は	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕 (12)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	クモリスと書いてよい訳であるが、被調査者はそれをいわずに「た。」	
6494.55.	*クモリス。	
6520.94.	NR. (クボ) 巢にあたる名詞はない。クボイサの集りの感じであって、生態としての巣を持つに強く意識しているのは、変なところである。	
6521.17.	クモリス、この場合は、クボという事はない。複合語の正開か。	
6522.39.	クモリスウ、スウの長音は京都方言の一般的な特徴であるが、この地方(少くも、この被	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
項目名 くもす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	調査者)においては、持ち著しいようである。	
6522.93	クモノミ, これは大ききもの,	
	クモノミ, これは小さきもの,	
6528.06.	gummo no suu 〈古〉	kummo no suu.
6528.64.	gummo no sui 〔古〕	kummo no sui
6532.70.	クモノミ, 葉は、この地方では、一般的に、 <sup>ミ</sup> と長音化する傾向が強いが、この語形では、長音化しない場合が多い。	
6538.46.	[gummo no ami 古]	kummo no ami
6542.32.	クモノミ <sup>ス</sup> , 一般に複合語の一部とみと。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 Z34	① 普通注記	ページ
項目名 くもす		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(14)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	一音節語の長音化が少いか。この語の場合は長音化する。	
6545.88.	heNbari, kumo no su: (003と004の区別について詳しく尋ねたが、共に heNbari という。時に区別すれば、kumo no su: という。)	
6546.15.	クモノエンバリ。〈エンバリとだけはお利言わぬ。〉クモリス。	
6554.08.	エンバリ 〈これは年寄りが言う。〉	クモリス
6562.48.	ハシラカケ〈多〉, (ハシラカケというのが普通でクモリスということもあるが、ハシラカケの方が古い語ではないか、と答えた。)(クモリスといたからとて、別に上品な語とも思わぬ、とも答えた。)	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (15)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6565.09	heNba〈右〉	kumo no su:
6565.17	# kumonosu: [heNbariと言う。] 〈せみとんぼをとる時、ぬはぬはした場合のみ。 heNbariと言う。〉	
6565.22	へバリ, ヘンバリ。〈両者とも用いる。〉(003 との区別はない。)	
6566.51	heNbari, 〈kumo no su: というのは、 学校へ行ってから。〉	
6576.56	(kumono)hembari, hembariと <b>言えば</b> 〈もに限る。〉	kumono su:

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ (16)
項目名 くものす		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6581.36	クモノアミ, クモノスウ, 〈両者, 同じくらいに使う〉	
6594.67	クモノスウ 〈クモノアミより, この方が広く通用〉 クモノアミ,	
6610.00	クモノアミ 〈幼〉 〈古〉, クモノアミ, 〈スとは言わない。〉	
6621.94	kuumo no sui (kuubo no sui とは言わない)	
6642.33	kuubo no sui, これは今も使う, が稀。	kuumo no sui.
6662.01	kuumo no eba, 巣を張るとを, eba: haru と言う。	
6700.25	kuumo hazure 〈古〉	kuumo no sui.
7249.95	コブノエ [稀]	コブノヤネ。



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7302.87	emba (巢のこ.)	
7308.48	hembari, hembari o haruu のように言う。	
7312.11	embari, (蜘蛛の糸と巢とを区別しない)	
7320.59	embari, スもイモも言う。	
7321.93	エフバリ。〈家の中をクモスという。〉	
7322.81	kumono eba. 〈巢と糸と区分けは云わない〉 (付近にはクモスを embari という地域(博多)がある。)	
7323.02	neba (巢と糸とを区別しない。)	
7331.27	kumono eba, <u>エフバリ</u> と言われぬと答う。	

福岡市と異なる。

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		[B 除いた共通語]	(18)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7239.85	エエ エ: , コブノエ. (普通, コブノエというが, 単に, エ: というともある。ただし, エ: は, <u>くものす</u> の場合にしか使われない。)	
7342.12	ebari (筑前部の様にエンハリと言っている。)	
7350.96	ミヤア meja:, <コブノエとは言わぬ。>	
7351.09	kobu no ije <sup>エ</sup> , (ス(su)とは言わぬ。)	
7351.68	kobu no yane. 糸と巢とを区別している。	
7352.97	? クエノス。	
7353.51	* コブノエ {~je}	エ。
7361.17	* コブノイエ	コブノイエ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (19)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7363.85.	* コブノス, コブノヤネ〈上〉	ス.
7365.25.	ebari, [＊]クモンアミ, 居合わせた竹垣 殿町(旧士族町)の老年の男子。	
7372.27.	クモノエ, (003と区別(さ.))	
7372.96.	〔コブノエ〕, ＊コブノエ, 〈古くからの語である が、俚勢に用いる。〉	
7375.71.	kobu no ebari, 蜘蛛の糸も、それで出来た 巣也。同じ呼び名。	
7375.96.	kobu no gi, これは糸にも巣の場合に 使う。	kobu no su.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	○ 普通注記	ページ
項目名 くものす		[B 除いた共通語]	(20)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7376.68.	(kumoN)eba. (糸も巢も同じで、使い分け た呼び名はないうたである。)	
7377.72.	eba. (糸も巢も共にebaというようである。)	
7380.74.	〈*〉コブンヤネ.	コブノス.
7382.58.	コブノエ 〈糸、老人語〉	ス.
7385.61.	kobu no me, クモの糸も巢も同じ。	
7390.26.	* コブノエ	コブノエ.
7393.62.	クモ. 〈例として、コブノクモハツタ。〉	
7395.63.	kobu no egare. (糸に糸、糸で出来た 巢にも、共に言うようである。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (21)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7401.11	kumo no eba (新)	kumo no sui:
7402.42	kumo no sui: 〈上〉 〈kumo no sui: hat:oru のように言う。〉 (〜toru は、 〜te oru の融合した形である。)	ebari
7402.47	ami, (〈ebari de ami hat:oru〉と して, "kumo no ~" のように言う。)	
7403.16	kumo no ami 〈上〉	kumo no sui:
7403.21	kumo no sui, 〈ami o haru と同じ〉	
7404.56	kumo no ju: (念を押すか; 002, 003 とも、kumo no ju: というのとてある。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7412.71	N.R. (〈kumo gaebahat:ot:e〉の い言はたて、クモスそのものを指す名詞はない らしい。)	
7420.18	kumo no ami, 〈kumo no amiga hat:e aruu〉なと-という。	
<del>7421.38</del>	<del>kumo no su 〈 〉</del>	<del>gumo no su</del>
7431.82	e, 〈e o hat:oruu といいこともある。〉	gumo no e.
7436.68	kumo no ei, エオハルなと-とよく使用板。	
7446.26	kumo no ie, 泉の意。	
7500.66	クモス (クモスといふ。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 クモノス		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(23)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7501.14	クモノス〈古〉	クモノス
7501.68	クモノ エエ〈多〉, クモノ エエ〈古〉	
7513.01	クモノ ハンバリ〈少〉	クモノ エエ
7521.79	クモノスウ〈古〉	クモノスウ
7522.48	クモノスウ〈多く用う〉, クモノ エエ〈少い〉 クモノスウとクモノ エエ〈老人が主に用う〉	
8229.96	ko:bu no jagane〈菓と糸とを区別しない〉	
8302.55	エカレ〈新〉〈山では コブノスとをエカレ と呼ぶ。〉	ス, コブノス
8303.47	コブノス, コブノス, コブノイカ, 〈コブノヤネ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	④ 普通注記	ページ
項目名 くもす		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(24)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	は、巢網の子ではなく、蜘蛛の糸の事である。〉	
8313.88.	kobu no ken. (糸と網との区別材はまいようである。)	
8314.52.	kobu no e 〈多〉	kobu no su.
8321.58.	ko <sup>7</sup> no jane (003の答に同じ。)	
8322.68.	ko <sup>7</sup> no jane 〈くも巣と糸とを区別しない。〉	
8323.59.	〈子〉 ko <sup>7</sup> nosu	
8324.26.	kobu no su 〈これを使うことか?みゆ。〉	kobu no e.
8334.25	kobu (kot) no jane.	
8335.48.	# kobu no e. 〈糸も糸でできた巣も同じ〉	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記	ページ
項目名 くものす		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(25)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8345.24	kobu no e, 「コブノ巢」とは言わない。 「コブノエ」を糸にも. 巢にも使う。	
8345.74	kobu no e, (糸と糸網との区別をあまり気にしない)	
8355.23	kobu no e, (糸と巢の糸網とを区別して言わない)	
8393.69	igare, 〈糸と巢とを区別しない。〉 (iは軽く鼻音化)	
9303.88	kobu no igare, jankai no igare, igare, 〈kobu no (地くもの), jankai no (黄金くもの) をとりなして、単に igare だけを用いることがある。〉	
9313.55	kobu no su 〈地くもの巢〉, jankai no su 〈黄金くもの巢〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (26)
項目名 くものす			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0249.17	si:bu:ja:, 〈くもの家の義〉	
0256.08	si 〈si だけてすせる。〉	
0256.76	kubugasi 〈糸と巣とを区別しない。〉	
0265.96	mangu:Fub si:, 〈糸と巣とを区別しない。〉	
0275.97	aman nu si: 〈女郎くもの巣という法〉	
1167.01	ku:bu:ga:si: 〈多〉 (これは、老人が用いる。)	kubukasi
1261.32	kubagasi, ku:ba:nu si:, 〈くすもと同様に使用する。〉	
1261.80	? ku:ba nu si:	
1271.05	phtt  akaja: (子供語)	Φubugasi



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	A 普通注記	ページ
項目名 くもす		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1862.48	[ア:]	クモス, クモス。
3741.16	ku'mo no sui <今>	ku'mo no sui'akui
4659.50	クモス (共)	クモス。
4685.72	ku'mo no sui (共) (これは改まった場合に用 いる。)	ku'mo no jadzi (=クモ ス) 用いる。)
4694.95	sui (新)	[B] ku'mo no jadzi
4716.20	ku'mo no sui <共>	ku'mo no edzui.
4724.00	ku'mo no sui <今>	ku'mo no edzui
4760.98	ku'mo no sui <新>, ku'mo no jazui ui は わすかに 中古化。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	A 普通注記	ページ (2)
項目名 クモノス		B 除いた共通語	
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5595.89	<共>クモノス	クモノス
5618.43	kubonosu <新>	kubono edzu
5633.45	kumonosu <新>	kumonojadzi
5653.08	kumonosu <共>	kumodzu
<del>5703.70</del> <del>5707.86</del>	kumonosu <新>	kubonosu
6438.33	クモノス <新, 共>	クモノス
6440.25	クモノス <新>	クモノス <B>
6494.55	クモノス (両着(糸と絹にほのやう)の区別が はっきりしなからため、ほのやクモノスと答へ絹 に念付甲し、注意を与えてからほのやクモノスと答へ、	クモノス

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 004	地図番号 234	A 普通注記	ページ
項目名 くモノス		〔B〕 除いた共通語	(3)
		〔C〕 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	両者の区別を明確にした。)	
6507.13	〈共〉クモノス	クモノエ
6549.03	gumonosu 〈新〉, 〈sukuiwaは新しい言方 で学校で覚えたような気がする。〉	gumonoie
6562.48	クモノス〈サ〉, (ハシラカケというのが普通でク モノスということもあるが、ハシラカケの方が古い語 ではないか、と答えた。)(クモノスといっただからとで別 以上品を語とも思わなとも答えた。)	ハシラカケ〈多〉
6582.12	クモノスウ 〈共〉	クモノスウ
6640.34	su 〈新〉 〈今では'su' と言う人が多く なった。〉	#e

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

頁目番号 004	地図番号 234	A 普通注記	ページ (4)
項目名 くもす		B 除いた共通語 C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7373.92	クモンス〈新〉	いゑ [jè]
7421.38	kumo no su* 〈上〉	gumo no su*
7423.12	kumo no su 〈共〉	kumo no ju
8342.35	kumo no su 〈上品〉〈ちよと改まるはねある。〉	ko <sup>1</sup> no su.
<del>8345.24</del>	<del>kabu no e. 「コブノ葉」とは言われまい。「コブノ葉」を糸にも葉にも使う。</del>	
<del>8345.74</del>	<del>kabu no e (糸と葉との区別糸は改まるはねある)</del>	